お知らせ

2026 年 11 月 17 日

日立、The Linux Foundation のグローバルイベント「Open Source Summit Japan 2026」において、日本企業最多の 11 講演に登壇

AI 時代の社会インフラにおける安心・安全な OSS 活用の取り組みを紹介

株式会社日立製作所(以下、日立)は、OSS コミュニティをリードする The Linux Foundation(以下、LF)が 12 月 7 日(月)～9 日(水)に開催するグローバルイベント「Open Source Summit Japan」において、事前選考を経て日立から 11 講演が採択され、日本企業最多の講演数となりました。今回、AI エージェント、金融、電力、サイバーセキュリティ、OSS 戦略にわたる幅広いテーマの講演を通じて、日立が社会インフラ事業と OSS 活動の双方で培った知見を発信します。また、プラチナスポンサーとして協賛し、展示ブースで AI エージェント連携ソリューションなどを紹介します。こうした知見や取り組みをグローバルな OSS コミュニティと共有することで、企業の安心・安全な AI・OSS 活用における課題解決に貢献します。

本イベントは、世界各国のオープンソースの開発者、技術者、コミュニティリーダーが集い、AI や OSS のセキュリティ、企業における戦略的な OSS 活用などの最新動向について議論・情報共有する、LF 主催の主要なグローバルイベントです。AI・OSS の活用に関心を持つ企業の皆さまのご来場をお待ちしております。

■イベントの詳細・申込はこちら(Open Source Summit Japan)
https://events.linuxfoundation.org/open-source-summit-japan/

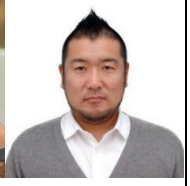
日立は、ミッションクリティカルな社会インフラ事業で培った安全性や信頼性の知見を、OSS コミュニティに還元し、AI・OSS を安心して社会実装できる技術開発や標準化を推進しています。また、Agentic AI Foundation[*1] (以下、AAIF)、LF Energy[*2]、FINOS (Fintech Open Source Foundation)[*3] などでの活動に加え、OSS を企業のビジネス成果につなげるための知見の発信[*4] にも取り組んでいます。

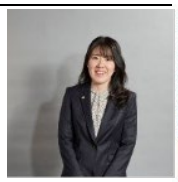
今後も日立は、社会インフラ事業で培った知見をグローバルな OSS コミュニティでの協創活動を通じて、AI 時代に求められるセキュリティ、ガバナンスの強化に貢献します。また、コミュニティとの協創や標準化活動を通じて得た知見を、AI で社会インフラを革新する日立の次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi」などに生かし、AI の安心・安全な社会実装を推進します。

*1 お知らせ "日立、日本企業で初めて Agentic AI Foundation に加入し、AI のアクセス権限管理の標準化を支援" (2026.3.10)
*2 電力・エネルギー分野のデジタルトランスフォーメーション(DX)に向けたオープン技術開発とその普及を推進する、The Linux Foundation 傘下の組織 https://lfenergy.org/
お知らせ "日立、エネルギー業界の DX をけん引する OSS 推進団体の LF Energy に加入" (2025.9.9)
*3 お知らせ "日立、金融サービスでのグローバルな標準化を促進する「Fintech Open Source Foundation」に参画" (2025.6.24)
*4 お知らせ "日立 OSPO 監修、グローバル競争力を高めビジネス成果につながる OSS 戦略を解説した「OSS ビジネス活用の教科書」が刊行" (2026.7.23)

■Open Source Summit Japan での日立の講演

日立の講演では、AI エージェントの安全な活用、社会インフラにおける AI・OSS 活用、サイバーセキュリティや企業の OSS 戦略など、AI 時代の社会実装を支える幅広いテーマを取り上げます。各講演の詳細は以下のとおりです。

日時[*5]	講演種別・タイトル・概要	日立の登壇者
8 日(火) 9:55～ 10:00	キーノート エネルギー分野における OSS 活用について ※講演内容の詳細は今後決定予定	 Benjamin Weber (日立エナジー)
9 日(水) 9:10～ 9:30	キーノート パネルセッション OSS 戦略の最新状況について ※講演内容の詳細は今後決定予定	 中村 雄一[*8] (登壇者のうち 1 名)
7 日(月) 12:05～ 12:45	セッション：Cloud＋Orchestration **CIMD + ID-JAG: Easy in PoC, Hard in Production** 「CIMD」[*6]と、「ID-JAG」[*7]は、AI エージェントなどの動的なシステム連携を安全に実現するための注目技術である一方、両技術を本番環境で組み合わせて利用する際には実装上の課題がある。本講演では、安全でスケーラブルな AI エージェント運用を実現するためのアーキテクチャや設計のポイントを紹介。	 田畑 義之
7 日(月) 16:40～ 17:20	セッション：Open AI & Data **Sponsored Session: Agentic AI Governance in Financial Services: Mapping FINOS AIGF to Japan** 金融業界向けの OSS コミュニティである FINOS が策定する AI Governance Framework と日本の金融規制の議論を比較し、Agentic AI のリスク管理や日本におけるガバナンスのあり方を紹介。	 江原 寛人
7 日(月) 16:40～ 17:20	セッション：Safety-Critical Software **Building the Open Power Grid With LF Energy: Lessons From Europe and a Starting Point for Japan** OSS を活用した次世代電力インフラの実現に向けて、欧州の先進事例をもとに、AI やデータの安全な活用を支える LF Energy の取り組みと日本での適用の可能性を紹介。	  Darshan Chawda 西島 直
8 日(火) 11:10～ 11:50	パネルディスカッション：OSS Enabling + Management, Operations Management & OSPOs **Panel: From the UN To Here - Growing the "Japan Model" and Its "Wa" With the Community** 日本の産業界・政府・学術界・コミュニティが培ってきた OSS の経験や、	

	OSPO を通じた企業とコミュニティの連携の歩みを振り返るとともに、「和」を中核とする日本モデルと、AI 時代におけるその可能性について議論。	渡邊 歩（日立ソリューションズ） (パネルディスカッションのモデレータ)*8
8 日(火) 14:00～ 14:40	パネルディスカッション： Automotive Linux Summit **Panel: Can We Trust the Software Supply Chain? - Communities, Standards, and Global Collaboration** ソフトウェアサプライチェーンにおける信頼をテーマに、SBOM(Software Bill of Materials)や標準化、コミュニティ活動を通じた透明性向上や組織間連携の取り組みについて議論。	 渡邊 歩（日立ソリューションズ） （登壇者のうち 1 名）*8
8 日(火) 14:50～ 15:10	セッション： OSS Enabling + Management, Operations Management & OSPOs **Making OSS Contribution an Executive Strategy: Metrics, OSPOs, and Enterprise Practice** 企業における OSS 貢献は、一部のトップ貢献者に依存するケースが多く、継続性の面で課題がある。CNCF の開発者活動データの分析結果や日立の OSPO 実践事例をもとに、組織として継続的に OSS コミュニティへ貢献するための仕組みや人財育成、ガバナンスの課題について紹介。また、企業が OSS 活動を継続・発展させるための考え方や実践事例について議論。	 西島 直（登壇者のうち 1 名）*8
8 日(火) 16:40～ 17:20	パネルディスカッション：OSS Enabling + Management, Operations Management & OSPOs **Panel: From Zero To OSPO: What Would It Take To Build One at Your Company?** 企業・業界・国境を越えた連携により、業界の課題を解決するために有用な OSPO であるが、日本では設置している企業はまだ少数である。OSPO を立ち上げたい企業に向けて設立の進め方や課題、企業間連携の可能性について議論。	 渡邊 歩（日立ソリューションズ） （登壇者のうち 1 名）*8
9 日(水) 12:00～ 12:20	セッション： OSS Enabling + Management, Operations Management & OSPOs **Beyond NVD: Consolidating Disparate Vulnerability Databases for CRA Compliance Using Open LLMs** NIST(米国立標準技術研究所)は脆弱性データベース「NVD (National Vulnerability Database)」の運用方針を 2026 年 4 月に変更したため、CRA(EU サイバーレジリエンス法)への対応を進める企業にとって、脆弱性情報の不足が新たな課題となっている。この課題への対応に向けて、複数の脆弱性情報源とオープン LLM を活用した効率的な脆弱性管理手法を紹介。	  川名 のん　　下沢 拓
9 日(水) 14:00～ 14:40	パネルディスカッション：OSS Enabling + Management, Project Leadership **Panel: Beyond the Region: The Journey To Establish the OpenSSF Japan Working Group** OSS のセキュリティ向上を目的とした OpenSSF Japan Working Group によるグローバルコミュニティの連携強化の取り組みや、オープンソースセキュリティ推進に向けた課題や展望について議論。	 川名 のん （登壇者のうち 1 名）*8

	この WG は、日本の企業や組織、政府機関を含む関係者の窓口として、 日本とグローバルコミュニティの双方向の連携強化を推進。	

*5 登壇日時は変更となる可能性があります。最新の情報は当日会場にてご確認ください。
*6 CIMD (Client ID Metadata Document): AI エージェントなどの動的なクライアント連携を実現するための標準仕様
*7 ID-JAG (Identity Assertion JWT Authorization Grant): AI エージェント環境におけるアイデンティティ連携を実現するための標準仕様
*8 複数名が登壇するセッションです。日立の登壇者のみ記載しています。

■日立の展示

- AI エージェント連携ソリューション
- Platform Engineering サービス
- 日立の Keycloak サービス

Open Source Summit Japan 概要

イベントサイト：Open Source Summit Japan
https://events.linuxfoundation.org/open-source-summit-japan/

開催日時：2026 年 12 月 7 日(月)～9 日(水)

開催場所：虎ノ門ヒルズフォーラム (東京都港区虎ノ門 1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー4F～5F)

参加費：11 月 23 日(月)まで$558 USD (87,000 円)、11 月 24 日(火)以降$751 USD (117,000 円) *9

併設イベント：Automotive Linux Summit、Embedded Linux Conference Asia

主 催： The Linux Foundation

*9 日本円表記は、The Linux Foundation 公式サイトに掲載されている参考額であり、購入時に異なる場合があります。
Open Source Summit RATES: https://events.linuxfoundation.org/open-source-summit-japan/register/

関連サイト

・日立の OSS(オープンソース・ソフトウェア)
https://www.hitachi.co.jp/products/it/oss/index.html
・業務の最前線に立つ日立の AI
https://www.hitachi.co.jp/products/it/CloudDX/generative_ai/index.html?ni=261117
・HMAX Cyber
https://www.hitachi.com/ja-jp/products/digital/cyber/?ni=261117

商標注記

・記載の組織名、製品名などは、それぞれの組織の登録商標もしくは商標です。

お問い合わせ先

株式会社日立製作所 ＡＩ＆ソフトウェアサービスビジネスユニット
お問い合わせフォーム：https://www.hitachi.co.jp/it-pf/inq/NR/

以上